

## 2019年度（令和元年度）第1回福山市入札監視委員会会議概要

### 1 会議名

2019年度（令和元年度）第1回福山市入札監視委員会

### 2 開催日時・場所

2019年（令和元年）5月30日（木）15時00分～16時00分  
福山市役所本庁舎3階 中会議室

### 3 出席者

委員	宮地委員，大島委員，内田委員（計3名）
関係部課長	（市長部局等） 建設管理部長，建築部長，管理部長（教育委員会），建設政策契約担当課長，技術検査課長，営繕課長，設備課長，施設課長（教育委員会）
	（上下水道局） 経営管理部長，工務部長，施設部長，管財契約課長，配水管維持課長，水づくり課長

### 4 会議の概要

#### （1）委員長の互選について

委員の互選により，宮地委員を委員長に選出した。

#### （2）委員長職務代理者の指名について

委員長の指名により，内田委員が委員長職務代理者に就任した。

#### （3）委員会の運営について

年に2回委員会を開催し，審議案件を事前に担当する委員が抽出することを確認した。

また，審議案件の抽出について，次回の抽出を山崎委員，以降続いて内田委員，大島委員の順に担当することを確認した。

#### （4）抽出案件の審議

抽出案件の審議に際し，2018年度（平成30年度）の契約状況について，建設政策課契約担当課長から次の通り説明を行った。

「2018年度（平成30年度）の福山市発注分の入札件数は872件で，落札率は9

1. 11%, 上下水道局発注分の入札件数は239件で、落札率は87.34%であり、2017年度（平成29年度）と比較して、福山市発注分の落札率が1.75ポイント上昇し、上下水道局発注分の落札率が0.06ポイント低下している。福山市発注分の落札率の上昇の要因としては、予定価格が10億円を超える大型案件について落札率が99.95%となったことや、2018年度から最低制限価格の算定式を変更したことにあると考えている。また、上下水道局発注分の落札率の低下の要因としては、予定価格が10億円を超える大型案件について落札率が81.71%となったことが考えられる。」

続いて、2018年（平成30年）10月1日から2019年（平成31年）3月31日の間に開札を行った工事を対象に、担当の委員が事前に抽出した案件（①～⑤）について審議を行った。

- ①福山市立加茂小学校南棟校舎改築他工事
- ②福山市立城北中学校南棟校舎改築都市ガス設備工事
- ③福山市立鞆小学校敷地災害復旧工事
- ④松永浄化センター汚泥処理棟電気設備工事
- ⑤配水管修繕工事（工水30-1）

### ○ 抽出案件の審議内容

抽出されたそれぞれの案件について、先ず案件の抽出を担当した委員が選定理由を説明した後、関係職員がそれぞれ工事の概要・入札状況について説明し、各委員からの質疑に対する回答を行った。

抽出案件に対する主な質疑応答は次の通りである。

抽出案件① 福山市立加茂小学校南棟校舎改築他工事	
Q 1	<p>予定価格が7億6千万円と非常に高額である。</p> <p>落札率は問題がないと考えるが、高額にも関わらず、入札参加者が2者と非常に少ない。</p> <p>総合評価方式を取っているが、総合評価方式の概要を伺いたい。</p> <p>また、総合評価方式を取るにあたり、参加資格、評価方式に問題はないか。</p>
A 1	<p>本工事は、福山市加茂町内にある、福山市立加茂小学校において、老朽化した校舎を建替えるもので、鉄筋コンクリート造4階建、延べ面積3,044.15㎡の新築や、附属建築物として、渡り廊下等を併せて新築するものである。</p> <p>本工事は、敷地周辺の道路が狭隘であること、また、学校を運営しながらの工事であり、工事管理に加えて、児童の安全確保や学習環境に特段の配慮が必要となることから、価格やその他の条件が、本市にとって最も有利な者を落札者とする、総合評価方式により発注したものである。</p>

	<p>工事内容は、設計金額が5億円を超える高額工事であるものの、一般的な鉄筋コンクリート造校舎の新築であることから、技術的工夫の余地は少なく、標準的な施工技術の範囲で対応可能であることから、施工計画等を求めることなく、同種・類似工事の経験・工事成績と入札価格を一体として評価する総合評価方式(特別簡易型)としたものである。</p> <p>入札参加資格要件については、「福山市建設工事共同企業体取扱要綱」により、工事を円滑に実施し、かつ、地元建設業者の健全な育成等を図る目的で共同企業体発注とし、また、「福山市条件付一般競争入札事務処理要綱」により、共同企業体の代表構成員に対しては、過去15年間における施工実績を求めたが、その他の構成員については、施工実績を求めている。</p> <p>なお、入札参加資格要件を満たす地元建設業者は、少なくとも8者以上と把握していたが、入札参加者数は、入札者が、現在の手持ち工事の状況や、配置予定技術者の状況等を総合的に判断した結果と考えている。</p> <p>総合評価方式の概要については、価格その他条件が当該普通地方公共団体にとって最も有利なものをもって申込みをした者を落札として決定する方式であり、本市では2008年度(平成20年度)から試行しており、実施にあたっては、「福山市建設工事総合評価方式試行要綱」において必要な事項を定めている。評価方式について、本市においては、評価項目を簡易な施工計画、企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地域性通性及び企業の社会貢献度としている。</p>
Q 2	総合評価方式には、特別簡易型、簡易型、標準型及び高度技術提案型とあるが、先ほどの説明にあった評価項目は共通の項目か。
A 2	特別簡易型については、先ほど説明した評価項目である簡易な施工計画、企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地域性通性及び企業の社会貢献度のうち、簡易な施工計画を評価項目としていない。
Q 3	総合評価方式における評価値について、どの評価項目において入札参加者の点数の差がついているのか。
A 3	合計の評価値は公表しているが、各評価項目の個別の評価値は非公表であるため回答できない。
Q 4	評価項目に基づき、適正な採点を行ったという理解で間違いはないか。
A 4	そのとおりである。

抽出案件② 福山市立城北中学校南棟校舎改築都市ガス設備工事

Q 5	<p>都市ガス工事であり、随意契約方式として、許可事業者である落札者に発注した経緯は理解できる。</p> <p>予定価格積算時の実勢施工価格は、特定の許可事業者の施工実績に依拠するところが大きいのではないかと考えられるが、その予定価格に対しての落札率が99.8%と非常に高い。</p> <p>ガス事業法による事業者選定はやむを得ない経緯だとは思いますが、予定価格の設定、落札率の高さについての見解を伺いたい。</p>
A 5	<p>本工事は、福山市立城北中学校南棟改築に伴う都市ガス設備工事である。</p> <p>都市ガス設備工事の積算にあたって、一般ガス導管事業者は、あらかじめ経済産業省の認可を受けた託送供給約款に基づき広く公表されている単価・経費の使用が、ガス事業法により規定されている。</p> <p>本市は、都市ガス設備工事の予定価格の設定について、一般ガス導管事業者である福山瓦斯（株）から参考見積書を徴取し、その積算内容がガス事業法の規定に基づき適切なものか改めて精査する中で予定価格を設定している。</p> <p>両者共に法律に規定する、託送供給約款に基づく、単価・経費を使用して積算しているので、結果的に高落札率となることは、やむをえないものと考えとともに、現在の予定価格の設定方法についても、公共工事の品質確保の促進に関する法律において、市場の実態等を的確に反映した積算による予定価格の適正な設定が発注者の責務とされていることから、問題ないものと考えている。</p>
Q 6	<p>随意契約において、予定価格は公表されているのか。</p>
A 6	<p>随意契約においては、予定価格は公表していない。</p>
Q 7	<p>随意契約において、業者の見積書記載の金額が、予定価格を超過した場合に、どのような手続をとるのか。</p>
A 7	<p>第1回の見積もりにおいて、予定価格を超過した場合は、入札に準じて3回まで見積書を徴することとしている。</p>
Q 8	<p>発注者、受注者共に公表されている単価に基づき積算するため、高落札率となっているという理解で間違いはないか。</p>
A 8	<p>そのとおりである。また、一般ガス導管事業者は、定められた単価で契約した</p>

	ければならないため、高落札率となっているものとする。
抽出案件③ 福山市立鞆小学校敷地災害復旧工事	
Q 9	<p>随意契約とした経過は理解できるが、予定価格が4,690万円と高額であり、落札率も99.8%と非常に高い。</p> <p>また、契約理由に、経費削減が図れるとあるが、予定価格に反映されているのか。</p> <p>この2点について、見解を伺いたい。</p>
A 9	<p>本工事は、平成30年7月豪雨により被災した鞆小学校敷地西側法面を復旧する工事である。</p> <p>まず落札率については、本工事は工事内容そのものは一般的な土木工事であるため、設計に当たっては、公表されている数量及び単価に基づき積算しており、公共工事の受注経験や、一定程度の積算能力があれば、市による積算と同程度の積算が可能であるため、高い落札率となったものとする。</p> <p>次に経費の削減については、本災害発生場所が学校敷地内であるため、工事現場を囲う仮囲いの設置など、安全対策のための設備が必須となるが、同一敷地内で施工中の校舎改築工事で設置している仮囲い等を引き続き使用することで、安全対策に係る経費に相当する額の削減を見込み、予定価格に反映している。</p>
Q10	<p>本工事は工期は2019年（令和元年）9月30日までとなっているが、同一敷地内で施工中の校舎改築工事は施工期間を伺いたい。</p>
A10	<p>2017年（平成29年）9月25日から2019年（平成31年）3月29日までとなっている。</p>
抽出案件④ 松永浄化センター汚泥処理棟電気設備工事	
Q11	<p>予定価格が9,500万円と高額にも関わらず、入札参加者が1者であり、落札率も98.3%と非常に高い。この点について、見解を伺いたい。</p>
A11	<p>本工事は、松永浄化センターの汚泥脱水機が劣化しているため、その更新に伴う電気設備を改修する工事である。</p> <p>本工事は、一般的な電気工事ではなく、関連工事となる機械設備工事で更新する汚泥脱水機が、全国的に納入の少ない特殊な汚泥脱水機で、その電気設備を改修する工事でもあり、施工上高度な技術力を要することから、福山市上下水道局条件付一般競争事務処理要綱で準用する福山市条件付一般競争事務処理要綱第</p>

	<p>3条の規定に基づき、同種・同規模の施工実績を求めて一般競争入札を実施したものである。</p> <p>この条件を満たす入札参加資格を有する者は、3者以上あると事前に把握していたが、結果的に入札参加者が1者となり、落札率が98.3%と高い落札率になることは当初から予想していなかった。</p> <p>結果的に、入札業者が1者となった理由については、今回更新する汚泥脱水機が、全国的にも納入実績の少ない特殊な脱水機であり、その電気設備工事であるということが考えられる。</p> <p>また、本工事が、既設の汚泥脱水機を稼働させながらの電気盤の設置や電気回路の変更を伴う施工条件となるため、施工実績や経験のある業者が少ないことなどから、入札業者が1者となったのではないかと考えている。</p> <p>落札率が高い理由につきましては、本工事における機器費の占める割合が工事価格の約8割と高いことなどから、このような結果になったのではないかと考えている。</p>
<p>抽出案件⑤ 配水管修繕工事（工水30-1）</p>	
<p>Q12</p>	<p>随意契約理由に、「緊急対応に関する協定を締結している」とあるが、協定の内容について伺いたい。また、99.4%と高落札率であることについての見解を伺いたい。</p>
<p>A12</p>	<p>本工事は、2019年（平成31年）3月22日の13時頃、福山市箕沖町の工業用水道の大口径水道管について、管の老朽化による漏水が発生し、それにより道路が陥没し通行に支障を生じたため、「配水管漏水事故等の緊急対応に関する協定」を締結した者と随意契約により、緊急に水道管を修繕したものである。</p> <p>本市上下水道局では、配水管漏水事故等に迅速かつ的確に対応する必要があるため、2010年度（平成22年度）から、本市の水道施設工事等の入札参加資格者41者の組合員で構成する福山管工事協同組合と「配水管漏水事故等の緊急対応に関する協定」を締結している。</p> <p>この協定の内容は、市内で発生する配水管漏水事故等に迅速かつ的確に対応し、水資源の有効活用並びに事故等に伴う二次災害の防止を目的としたものである。</p> <p>具体的には、配水管漏水事故等発生により、上下水道局から福山管工事協同組合に修繕工事の依頼をし、当該組合から速やかに対応可能な当番の組合員に連絡し修繕工事を施工するものである。</p> <p>次に、落札率が高い理由については、当該業者が、依頼から施工までの準備期</p>

	間が少ない中で、作業員や資機材などを速やかに調達し現場対応する必要があったことなどの結果と考えている。 <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

## ○ まとめ

抽出案件について、委員会から付された意見はなかった。

### (2) 入札及び契約手続の運用状況についての報告

- ・ 指名除外措置運用状況

2018年（平成30年）10月1日から2019年（平成31年）3月31日の間に指名除外措置をした3事案3者（市長部局分）の状況について、建設政策課契約担当課長が報告し、1事案1者（上下水道局分）の状況について管財契約課長が報告した。

### (3) その他

- ・ 次回委員会の開催時期について

2019年（令和元年）11月下旬の予定

- ・ 次回で審議の対象とする工事案件の抽出について

2019年（平成31年）4月から2019年（令和元年）9月までを対象とし、山崎委員が担当する。